

50代サービス業／飲酒

免許の取消処分を受ける前の私は、営業で外回りの仕事で、毎日のように車に乗り仕事を行っていました。過去には携帯電話違反やスピード違反などで免許停止処分を受けたこともあり、優良運転者とは言いがたい運転内容でした。

今回の取消処分となった理由は、出張先の飲食店で食事がてらにビールを飲み、「ホテルまで近いから大丈夫だろう」という安易な考えで車を運転し、警察に飲酒運転で検挙されたのです。

その後、家族と会社に運転免許が取消しになってしまうことを報告すると、そこから…私の生活が一変し、後悔の日々を送ることとなりました。

出張先で検挙されたことで、会社からは降格及び異動が命ぜられ、免許は2年間の欠格期間を迎えることとなりました。昨日まで当たり前であった車の運転ができなくなったことで自転車通勤となり、そして営業職として外回りができなくなったことで、「私に関わる全ての人達に迷惑をかけている」ということが、何より精神的に辛く、惨めで、そして情けなく思う日々でした。

思うように仕事ができず、当然ですが成績も振るわず、毎日の出勤が嫌で嫌でたまらない日々、家庭では父親として世間に恥じる行為を犯し、家族に対し申し訳ない気持ちでいっぱい…。

日常生活の中、テレビなどで毎日のように飲酒運転検挙や飲酒運転による交通事故などのニュースが流れております。こうしたニュースを見るたびに、この人達も私と同じように「後悔の日々」を送るのだろうと、自分の過去を振り返りながら反省しております。

今回の処分を受けて自分自身を変えることを決意し、30年以上吸い続けていたタバコをやめ、毎日飲んでいたお酒を平日は飲まずに休日のみにすることを決めました。「禁煙」については目標達成しておりますが、「お酒」については残念ながら目標達成とは出来ていません。しかし、飲む回数は格段に減っています。

今回の飲酒運転による取消処分者講習は9名で受講しましたが、年齢や性別、境遇など様々で、数が多いことに改めて驚きました。皆さんの自己紹介を聞き、仕事を辞める、家庭が壊れてしまった、生活が激変した、周りの人に大きな迷惑をかけている、とても後悔している…など皆さんが口を揃えて話してくれて、「私もその中の1人だ」と感じながら参加しました。自分の心の弱さから飲酒運転を行った結果、自分だけの

問題ではなく、家族や周りの人達にどれだけの迷惑をかけ不幸にしまったかを、改めて強く感じて受け止め、二度と同じ過ちを繰り返さないと心に誓いました。

今後、また運転免許を取得できたら、絶対に飲酒運転はしない、仕事を精一杯頑張って、今まで支えてくれた家族に「二度と迷惑をかけない」と誓い、真っ当な人間として生きていきたいと思っています。